

大学卒業程度試験 専門試験（農学（一般）B（職務経験者））例題

【作物】

水稻栽培方法の1つである直播栽培技術について、複数ある「播種様式」の中から1つを挙げ、その特徴を述べなさい。

また、直播栽培は省力化・低コスト化技術として、全国的に普及推進され、栽培面積は令和元年に全国で約35,000ha（本県1,460ha）まで増加したものの、令和2年は、高密度播種育苗栽培の普及等によって減少となった。そこで、直播栽培を導入することによる経営体に対する効果及び普及推進していくに当たっての課題について述べなさい。

【園芸】

施設野菜における天敵生物剤の例を述べなさい。

また、化学農薬のみに依存しない「総合的病害虫・雑草管理(I PM)」の普及のため、天敵など生物的防除を含む「多様な手法による防除」のほか、「予防的措置」や「リスク評価と判断」が重要視されている。そこで、病害虫・雑草の発生しにくい環境整備の方法と、防除要否及びタイミング判断の方法について、どのようなものがあるか述べなさい。

【担い手・経営】

人・農地プランの概要について述べなさい。

また、農業経営基盤強化促進法の改正により、人・農地プランが法定化される見通しである。本県は全市町村で人・農地プランが策定されているものの、その実行が課題となっている。今後、人・農地プランを着実に実行していくに当たっての課題と県としての支援のあり方について述べなさい。

【起業・流通】

農村女性のグループである「生活研究グループ」について、その目的と概要について述べなさい。

また、平成11年6月23日に公布・施行された男女共同参画社会基本法により、農村においても仕事、家庭、地域生活などで男女がともに夢や希望を実現することが求められている。特に、高齢化率が高い本県において、農業分野における男女共同参画の現状と課題、その解決策について述べなさい。